京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

北滿邦人の退去

近來北滿各地に於ける清國官民の行動は何となく穩かならず晝には防穀令の發布あり又東清沿線西部各地の清人日貨に對するボイコットあり物情何となく不穩快の感あるの際安化府、呼倫城、兆南府各地に在りたる日本人は突然清國官憲より退去を命せられたる爲め此等の諸地方に在りたる邦人は已むなく哈爾賓迄引揚げたりと

安奉線の工事模樣

▲長嶺子と金札　安奉線十二工區に於ける南牧下馬塘の長嶺子隧道（五百九十四尺）は阿川組の請負にて日夜精勵の結果五日午後七時全く貫通し同區內金孔隧道（六百六十尺）も亦岡組の手にて八日午前三時首尾よく貫通したり▲釣魚臺　釣魚臺隧道は鹿島組の請負ふ處となるも全線第一の硬岩のことゝて堀鑿容易ならず一日漸く平均一尺の割合なるが目下は既に約百尺に達したりと云へば晩くも本年五六月の頃には貫通を見るを得べし又同所細何沿岸コンクリート工事は全線第一の難工事と稱され居れるが鹿島組は畢生の心血を傾倒し水を割て作業に勉め居れば之亦た案外早く進捗するを見る可し▲細河橋梁火災　安奉線に在る細河の橋梁二十四號は如何なる原因にや汽車の通過後火災を起し二徑間三十尺燒失し一時交通杜絶したるが直に修繕復舊せりと

東幕洞の戰鬪

漣川分遣所の濱田、高橋の二上等兵は補助員四名を率ひて賊徒搜索中十八日午後三時頃平山郡東幕洞に賊徒徘徊せりとの情報に接し直ちに同地へ向ひたる所賊魁李鎭龍の部將崔順巨の率ひる二十七名の賊團にして其の內二十二名は銃を所持し居たるが賊徒は五分ばかり前に同地へ着したる如く未だ武裝を解かず二隊となりて休憩中なるを認め憲兵は二隊に分れて賊の腹背より約二十米突まで接近したる時前方約百七八十米突の山上にある賊の哨兵は直ちに發砲したるを以て我兵又發砲して迫りたれば賊は周章狼狽してなす所を知らず算を亂して且つ走り且つ戰ひ激戰一時間半に渡りて遂に之れを潰走せしむ我れに損害なし

一月中の採炭高

平壤鑛業所の一月中採炭高を聞くに極羅山、寺洞、高坊山、中山里の各鑛區を合せて切込炭四千七百三十七噸九合之れに前年よりの越高塊炭四十二噸及び切込炭三万三千三百九十五噸六合を加へ同月中堂里貯炭場へ廻送したる塊炭六十一噸（切込炭より撰出せしもの）切込炭百四十四噸を差引き同月末山元現在高は塊炭四十二噸、切込炭三万七千九百三十八噸五合、計三万七千九百七十噸五合なり而して同月中の販賣高は塊炭六十一噸、切込炭百四十四噸にして月末堂里貯炭場に於ける現在高は切込炭千七百四十七噸四合なりきと

慶南道路改修補助

地方費を以て改修せらるべき各道樞要の道路中慶尙南道に於て本年度に改修を實行さるべきは東萊蔚山間十三里及晉州居昌道路の內晉州丹城間の延長四里の兩區なるが今此兩區域の改修費補助を道地方費より支拂はるべきは東萊蔚山間に一里三百圓を見積り十三里分三千九百圓晉州丹城間は改修困難のため一里の改修費三千八百圓と見積り三里分一万五千二百圓を計上確定せりと

地方通信

平壤通信

▲林業界の近况　昨秋植付けたるクヌギ苗は一年生は今回は初期の事にもあり寒冷の候に於て大に之が發達を憂慮し居たるも幸にして成績良好何等障害を受くる事なく其他アカシヤ、ポプラ等も成績良好なり而して近く解氷期を俟て宣川方面に於てクヌギ、赤楊六十萬本を百町步の地域に植栽する筈なり其他に於る目下の植栽樹木に黑松（俗に雄松と云ふ）あり　されど右は元來暖國に繁茂する木材なれば當地の如き氣候寒烈なる地には適せざるが昨年試植したるも良好なる成績を上ぐる能はざりしなり又本年度春季より當地附近に播種すべき樹木は赤松、クヌギにして何れも昨年は二十五石なりしも本年は五十石に增加し何れも薪炭材なるが赤松は日韓兩種なり然るに日產は寒氣烈しき爲め發育宜しからず之に反して韓國產は樹苗も大に發育良く成績良好なるも元來赤松は日本に於ては繁殖頗る旺盛にして通常三年目には山に空地を見ざる迄に至るものなるも當地に於ては前記の如くにして漸く一尺五寸位の發育を見るに過ぎず又樹木の內發育も早く地を選ばず繁殖するはアカシヤなるも樹質宜しからず依りて右は韓人間に於る松樹伐採の防禦的に栽培するのみなり要するに韓國に於て最も適したるはクヌギなるが右は薪炭材とし用ゆるに止まり之を造林上より見る時はアカシヤ、ハン等なりと（因にハンは沿岸の水氣を有する所を好み又ポプラと同じく水氣を好みて多く山地に適せず其用途に就ては夏帽の原料及火藥の灰等に用ゐるのみなりと

▲本月の倉庫界　二月に入りてよりは一月中に比較し一般の倉庫取扱品は減少せる方にて輸入品中月初めに於て僅かの荷捌きありたるのみにて殊に目下は韓正月なれば韓人間の取引皆無の狀態なるが故に何れも軟弱の姿にて市場閑散なるも近く解氷するに至らば大同江流域の物資集散するを以てさすれば幾分活氣を帶ぶに至るべし

▲電燈問題の悲觀　過般當市內に電燈を建設すべき問題起り若松理事官は是れがため兩三回上京して盡力され既に布設の運に到着し居りしが去る十九日の民會に於て調査委員は種々調査に從事したるが更らに要領を得ずして曖昧なる報告をなしたるが動機となり昨今非常に物議を釀し居れば今後が觀物なるが（尤も）目下の財政にては迚ても急に電燈建設は先づ六ツかしい事であらうと思はれる

日本銘刀傳

第五十席　邑井一講演

彌「伜……名僧智識の引導より、遙かに勝つた貴樣の一言……仙『南無阿彌陀佛々々、何卒た浮み下さいまし」暮るる涙に父の死を痛んで、遂に其儘に茶毘一片の烟となし、何處を尋ねたか一つの瓶を持來り、父の骨を是れへ入れ金剛市兵衛の方を訪れ、夫れより故鄕木津村に歸りましたが、情けないかな祖父樣も祖母樣も相果てゝ、惡者の爲めに身代を取られ、阿母樣は當時和歌山の龍右衛門方に引取られて行つたとのことゆゑ、自分も直ぐさま和歌山の龍右衛門へ赴き、親父の死んだことを話まして、軈て父の白骨を高野の山に納めて、夫れから自分は京都の五條の五郎藏と云ふ方に身を寄せて、遂に會津公の御用を勤め、會津の小鐵々々と其の名も高く、京洛中洛外に轟き渡る。茲に文久二年の四月伏見の寺田屋に薩摩浪人が暴れ込んだ、其中に小鐵が飛び込んで行つて、拔群の功を現はし王政となつたから、江戸へ行つて新場の小安さんと僅かのことで悶着を起しました、此會津の小鐵が大層名前を高く致しましたと云ふのは、會津の肥後守公の御用を勤め、所謂人入れでございます、人足を扱つて居ります、又北野の五郎藏と諸共に運送を致して居りました、其中に島津久光公がまだ三郎と仰せられた時分、京都の御乘込みに相成らうと云ふ時に、筑前の平野次郎國臣が建言書を奉つり、恐れ多くも皇居を何處へか遷し奉つて、外國人を打拂はんと云ふ、此のことに付いて島津久光公京都に御入りに相成り、間もなく致して伏見に薩摩浪人が入込んだ、有馬新七が巨魁でございます、其の時奈良原幸五郎、元の沖繩縣知事を御召に相成り、取鎭めよとのこと、其の御供に立つたのが會津の小鐵でございます小鐵の仙吉が寺田屋の四方を圍んで、浪士の暴れ出さうと云ふのを、自分が一手に是れを支へ、是れが爲めに有馬新七は奈良原幸五郎殿に斃たれて仕舞つた、此の事は近世史略にござゐまするから、俠客傳には必要でございませんから申上げません、其の時に小鐵が白刀の中に飛込んで、少しも恐れず大勢を相手にしたと云ふので、非常な喝采を受け、是れから小鐵の名前は轟き渡つて、會津の小鐵と云ふ名前を知らざる者はない、間もなく致して新門の辰五郎さんが、江戸から京都に乘込み、時の將軍德川慶喜公の御庭の掃除をなして、慶喜公の御用ひが大層宜うございましたから、折々此の新門の乾兒と小鐵の乾兒と衝突を致しまして、固より當つて碎ける新門の親分ゆゑ、小鐵さんとの仲は忽ち直り、其のうち新門さんは大阪に參り、慶應四年に慶喜公御歸りになつて、其の辰五郎さんも江戸に歸られた、夫れから德川は瓦解となり、會津樣が御立退きになると云ふ時、小鐵に於ては大阪までも御供致して、德川が朝敵となり、官軍の御代と相成りました時に、小鐵は初め官軍の御用をも勤めませんでしたが據なきことを諦めて、遂に官軍の御用を勤めて大に小鐵の名前は又盛んになり、明治の元年から致しまして、京都の愛宕吉田村と云ふ所に自分の家を構へ、紀州和歌山に居る母親を引取つて孝養を盡して居ります、遂に明治五六年頃に大坂に乘出して、難波の福と云ふ人と大喧嘩をやつて、小鐵の名前は又高くなりまして彼方でも小鐵、此方でも小鐵と云ふ、併しながら此の人は親孝行でございますから、猾吏人が歸服して居つたと云ふことでございます



東京電報

▲外債借替の發表

外債借替に關しては政府に於て審議中なりしが愈々五千万磅を直に實行する事に決定したり而して其條件は價額九十五磅利子三朱三厘シンジケート手數料及印紙料等二磅半なり（同上）

▲外債借替の確定

既電外債借替は英、佛兩國の資本家と內議纏まりたるもの〻如く其發表は來月上旬なるべし（同上）

▲中旬の外國貿易

本月中旬の外國貿易は三百四十三万八千圓の輸入超過を示し輸入前旬に比し一割六分輸出同三分の增加なり

▲政友會と營業税

政友會は黨議を以て政府の提出にかゝる營業税改正法案を否決するに決せり

▲合併問題と傳說

爾來消息杜絕せる日韓合併問題は貴衆兩院に於て桂首相が與へたる言明後大に開展の機運を促がし過日の閣議は頗る注目を惹きつゝあり目下絕對に秘密を守られ居るも其雲行は次第に進行して近日中に解決を見るべしと傳へらる（廿二日）

▲小學校長會開催

全國小學校敎員會議は來五月七八兩日帝國敎育會に於て開催せらるべし（同上）

歐洲電報

▲伏見若宮の御旅程

歐洲御見學中の伏見博恭王殿下は伊國皇室の貴賓として羅馬に御滯在中なりしが二十日羅馬府を出發ナープル其他伊國の各所御遊覽三月六日伊太利國より西班牙國に向はせられ同月八日より十二日迄同國御滯在の御豫定なりと（廿一日）

▲埃及首相の遭難

埃及首相は兇徒の爲五回狙擊され三個所負傷せしも生命は無事なり（廿二日）

▲獨逸議長の逝去

獨逸聯邦議會議長逝去せり（同上）

▲ア國の軍艦注文

アルゼンチン共和國にては排水量二萬五千噸の戰鬪艦を米國に又十二隻の驅逐艦を獨佛兩國に注文したり（同上）

桑港電報

▲聾者會議の開催

米國コロラード州スプリングに於て來る八月六日より十二日迄聾者萬國會議開催する由にて我國にも招待狀回送し來りたるが其重なる討議事項は一實業界に於ける聾者の關係二聾者使用に關する件三誤解又は不明の用語改良の方法四聾者の居宅五聾者專用の

新聞發行及び經營に關する件等なり（廿一日）

浦鹽電報

▲極東重要の會議

黑龍江沿海州總督ゴンデンベルグ將軍は極東に關する重要問題會議に列する爲め廿日露都に向け出發す（廿一日）

雜報

韓國銀行の總會

（議場頗る紛擾を極む）

韓國銀行第一回總會は十七日午後二時より東京商業會議所內に開會、總裁市原盛宏氏議長席に着き四十二年十一月二十日の計算を以て第一銀行より引繼ぎ同二十四日業務開始以來四十日間に於ける營業に付き大体の經過、韓國の貿易等を說述し終りて監事濱口吉右衞門氏より計算書其他の調査報告あり利益分配案の議事に入り一氣呵成の勢を以て可決せんとするや異議ありと叫びて立ちたるものあり滿場の視線は均しく其人物に注ぎたり是れ韓國より態々總會參列のため上京したる峯岸繁太郞氏（本社長）にして先づ貸借對照表中定期貸百五十一萬六千六百十八圓餘、割引手形百四十萬七千三百二十四圓餘中仁川金融組合、木浦の竹內某、仁川の秋田某等に七十餘万圓の長期貸あるやに聞けり之に對して保證及び擔保の有無に關し總裁の答辨を求むと迫り市原氏は此の如き問題は總會の席上に於て說明すべきにあらざれば別席に於てしたしと其語氣壓迫を加へんとするもの〻如く尙ほ何か期する所ありたるのか株主の二三は發言權を得ずして反つて峯岸氏に喰つてかゝり其言論を妨害せんとし一方には峯岸氏に贊するものあり結局再び發言權を得たる同氏は東京に總會を開きたる不法を問ひ仔細に杜撰なる諸點を指摘せんとするや簡單〳〵と絕叫して再び其言論を抑壓せんとするものあり同氏は聲を勵まして多數株主の無能を罵しり政府補給六朱の配當に甘心すべきは僅々五箇年のみ其後に於て如何なる手段方法に依らんとするや予は態々韓國より來りたるも少數なるが故に議用ゐられすとせば歸韓の上他に執るべき手段ありと席を蹴て議場外に出づ其後の總會は何等異議なく僅に數分間にして左の原案を通過せり

一金六萬一千五百〇二圓四十五錢也　當期總益金
一金十五萬三千八百〇五圓四十一錢也　當期總損金
差引
金九萬二千三百〇二圓九十六錢也　當期純損金
金十一萬七百十三圓九十一錢九厘也　政府補給金
再差引
金一万八千四百十圓九十九錢五厘也（政府持株三萬株を除き殘餘七萬株に對し年六分の割）配當金

韓銀の紛擾事情

（東京日々新聞所載）

▲峰岸氏の說　別項の如く韓國銀行の總會は峯岸氏により紛擾を呈したるも同氏は多數に敵せんやうもなく席を蹴つて場外に出でたれば之を別席に擁して其間の消息を聞きたるに同氏は總會に於て述べたる固定貸付金問題、第一銀行貸付金七百八十八万八千七百五十一圓餘の利子及び擔保品の不明なること本店及び支店の地所建物什器百二十一万二千百十八圓餘を第一銀行より買收したる價格高きに失すること四十日の營業日數に比し他店貸四百八十二萬三千百八十三圓餘が他店借六十七万八千八十五圓に比し多きに失すること當期缺損金九萬二千三百餘圓は總裁辨明の印章帳簿其他の買入費としては多きに失すること政府預り金の利子高率に失すること諸預り金七百六十三万一千六百餘圓は第一銀行時代に一千餘萬圓ありたるに第一に京城、釜山の如き重要なる兩支店を奪取せられたるを以て結局現今の營業狀態に苦痛の觀あること韓國銀行獨立論を現重役の提唱するは不可なること、預金の勸誘を總裁親展狀を以て勸誘するは他銀行に對し甚だ不親切なること、中央銀行として韓國諸銀行利率の統一を計畫せざるは其施設の不可なるに原因すること等の諸問題に涉り一々事例を擧示して說明あり依りて總會終了後更に當局の辨明を聞くべく市原總裁を訪ふ

▲市原總裁曰く　總會に於て還般の態度に出でたるは峰岸氏は京城新報の社長にして常に吾人と相識の間柄なるに態々總會の席上に於て仰々しく說明を求むるの要あらざるべしと思料したればなり併し前記定期貸の三件中木浦の竹內某に屬する分は第一銀行に引渡し仁川金融組合秋田某に屬するの分は擔保確實にして十分回收し得べしと確信すれども少しく時日を要するは事實なり建物什器の價格は決して高からず預金勸誘の書狀等を發したることなし其他は敢て辯明の要を見ずとて口を緘したり

韓政府の新借款

韓國政府に於ては今般日本より新たに借款を起さんとするの計畫なり其の使途は土地調査及治道費、其他に充當する豫定にして土地調査費は豫て興業銀行より借入れたる一千万圓なりと雖此金は既に他の所に流用しある故之れを補充するの必要と治道費は繼續事業の外新に四百万圓の治道を計畫したるも一定の年割額を支出するは不可なりとして本年度の豫算より削減したるを以て之れを遂行するが爲めにて其他一事業に關しては借款を以て完成する筈なるが其の方法は從來の如く年々確定したる額を借り入るゝにあらず必要に應じて協定する筈なりと云ふ

新税と英國勅令

客年二月韓國家屋税外二税の法律發布に伴ひ英國政府に於ては特に家屋税のみに對する勅令を發布したる由にて京城駐在英國總領事より石塚總務長官宛左の如く通牒ありたりと

家屋税法中の說明及該税法の効果を生せしむる爲め英國居留民の注意を勸促されたしとの御照會に對し小官は該税法を本國政府に照會致候處政府に於ても其の趣旨を公示する爲め勅令を小官の名を以て發布する樣命せられ候因て當領事館に於ては條約を以て許されたる範圍外の韓國內地に在住せる英國居留民に對し去る二月十三日御發布の家屋税法に權利を附與せし千九百九年勅令第一號を以て該税を納附する樣告示致候該納附の義務者は多數無之事と存じ候得共も韓國法律施行上形式の効果を具備せしむる爲め貴官に於て可然御取計ひ下さる〻事と確信致候

●蠶業講習所の設立

農商工部は龍山に現在する私立大韓婦人會養蠶講習所を利用して之を同部の直屬とし女子蠶業講習所を新設せり而して之に關する規程は近々部令を以て發布せらるべきが今其內容を聞くに同所は蠶業に關する學理及技術を講習し修業期限は每年四月一日より十一月三十日迄八箇月間とし講習生は所內に寄宿せしめ學費として一箇月六圓以內の給與を受け卒業の後は滿二箇年間政府指定の職務に從事するの義務を負ふものとす又學科は講義實習の二に別ち前者は修身日語算術桑樹栽培法養蠶法製糸法とし後者は桑樹栽培養蠶製糸を敎授する由而して講習生定員は二十名にして蠶室は現在二階建約三十坪所屬桑園は總面積約四十町步ありて既に植付濟のもの九町步現在せりと云ふ

●附屬の敎授法研究

師範學校にては目下速成科の六十九人を合して二百十二人の敎生あり同校附屬學校の學童二百六十人に對し上級生は親しく敎鞭を執り敎授法の實地研究をなしれるが成績極めて良好なりといふ此程敎授法研究の日程を左の如く規定し學部よりも職員出張する由

二十三日	三學年	綴方
二十四日	二學年	圖畫
二十八日	一學年	讀文
三月二日	一、二學年	算術
八　日	四學年	理科
十　日	一、二學年	國語
十六日	四學年	日語

●仁川管內の日本人

仁川理事廳管內在留邦人の本年一月末現在戸口統計を聞くに戸數は三千五百二十二にして之れを前月の三千五百十戸に比較すれば十二戸を增し尙ほ人口は男一萬三千〇七十二女一萬二千八百七十九合計二万五千九百五十三人にして之れを前月に比する時は百九十五名を增加し居れり尙ほ其內仁川港一月末戸數は二千九百二十戸にして前月より三戸を增し人口の如きも前月に比し百六十九人を增加し居たりと云ふ

●行政處分の奇新例

韓政府は全道市場取締行政の不統一を矯正せん爲め統監府の同意を得て之が手續を一定したる事昨紙所報の如くなるが是に依りて從來屢々日韓兩官憲の間に處分の撞着したる事根を芟除し得べしといふ然るに該手續條項なるものを見るに公開居留地又は居留民團學校組合日本人會所在地に於ける市場の新設變更に就ては漢城府尹觀察使は日本理事官と協定の上之を處理し其申請者の全部又は一部が日本人なる時は指令書に理事官と連署を要すとせり同一事項の處分手續に對し日韓兩國官憲の連署を爲すが如きは頗る奇なる現象にして事小なりと雖も日韓兩行政上の一新例を開きたるものなるべしと云ふ

●官費留學生の試驗

學部にては今回日本へ留學する官費生補缺員を募集する由にて其資格は官立高等學校卒業又は學部大臣に於て之と同等と認むる學校卒業生の內より試驗の上撰拔する事となり志願者は三月末日迄に學部に到達すべき樣願書履歷書卒業證書希望敎修學科等を具し直接學部へ差出すべしと因みに試驗は四月十一日師範學校內に於て擧行す

●甲種普通學校補助

本年度に於ける各道公立甲種普通學校への補助費下附の件は此程學部大臣の決裁を經たるが額左の如し

京畿	一、三六七、〇〇〇
慶南	一、六一四、〇〇〇
慶北	三〇〇、〇〇〇
全南	一、三六〇、〇〇〇
全北	三八〇、〇〇〇
黃海	七二〇、〇〇〇
平南	五〇〇、〇〇〇
咸南	二〇〇、〇〇〇
咸北	七二〇、〇〇〇

●會計事務の講習會

內務警務局にては今回韓全國に於ける各警察に會計事務を執れる若くは將來會計事務を執らんとする警察官を召集し會計の統一と整齊を期する爲め會計事務講習會を開催する由なるが講習期間は明後二十四日より約一ヶ月半の豫定にして聽講人員は四十八名なりと

●地方官制の改正

隆熙元年勅令第四十號地方官官制中改正の件裁可發布されたり其の要旨は第二條中三十一人を三十七人に第三條中百十七人を百四十三人に又た百八十七人を百九十九人に六十八人を七十二人に增員し二月廿一日より施行す

●寧邊の市場税徵收

寧邊にては廿日開市當日にして總賣揚千圓に對し外來者百廿名分に對する一圓十三錢丈け徵收を終り寧邊商民に對する徵收は翌日之を行ひし筈なるが寧邊署にては万一を慮り巡査數名を派遣せり

●參與官會議の例會

廿二日午前十一時三十分より統監府に於て參與官會議例會あり石塚長官の外荒井、俵、松井、小宮、小松、國分の各參與官及鍋寺司法廳長官代理、中山書記官岡本參謀、岡鐵道廳參事等の諸氏出席

●工業傳習學員募集

工業傳習所にては第四回學員を募集する由志願者は三月一日より廿五日迄願書を提出すべく試驗は四月一日執行の筈

日韓瓦斯の決算

日韓瓦斯會社は來る廿五日東京本社に於て株主總會開催の筈にて岡崎專務は既に先程東上したるが同會社の本期收支は左の如し

明治四十二年下半期損益概要計算（圓下切除）

收　入
一金七万二千三百六十二圓　電車收入
一金七万七千九百廿四圓　電氣收入
一金九千二百九十圓（九十日間分）瓦斯收入
一金一萬千三百三十四圓
合計十八萬九百十二圓

支　出
一金十四萬四十七圓

差引
一金四萬八百六十五圓　當期利益金
一金一万千四百三圓　前期繰越金

株主配當は總會決議の上ならでは確言し難きも同總額は三万六千百廿圓として五分を配當するに至るべし尙ほ創業期の今日に於て五分の配當は寧ろ意外の好蹟にして今後万般の設備完成の曉に到らば一割以上を配當するに至らん事難からざるべしと某株主は語れり

韓海の捕鯨成績

現時政府の許可を得て韓海に於て捕鯨を業とするは日韓捕鯨株式會社、東洋捕鯨株式會社（昨年東洋漁業會社と長崎捕鯨會社と合同したるもの）の二會社にして明治三十六年各會社が韓海に於て捕獲したる鯨の數を聞くに三十六年百一頭、三十七年三百三十六頭、三十八年三百五十八頭、三十九年三百九十七頭、四十年一百四十二頭、四十一年二百四十七頭にして四十二年の分は目下漁期中なれば捕獲數は知ることを得ざるも今日までの所にては未曾有の好成績なりと云ふ因に漁業法に依れば捕鯨期間は每年十月より翌年の四月までに制限せられたるが禁漁期間は價格の低廉なる時期にして必ずしも產卵季節の時期を標準としたるにはあらず鯨の產卵期は各國を通じて明確ならずと

●後任助役の人選難

現京城民團助役林田茂七郎氏は近々辭任の都合なるを聞き早くも野心家の運動開始せられ某々二三輩の如きは殆んど血眼の狂態を演じ居れり今其顏觸を窺ふに如何はしき人物尠からず屢々其議に上りたる大村某の如きは爾來耳を傾け呉るゝものなきに目下中止の姿なるが其後某議員現はれ出で種々運動を試みたるも其內心に民長牽制の魂膽あるを看破したる爲め古城氏は絕對に之を排斥せるを以て是亦成功覺束なきが如し斯くて又幾盤の候補者數へられしが孰れも帶襷長短的のもの〻みなれば忽ち出で〻忽ち消へ去り最後に現はれたる者を峰尾晉三郞氏とす氏の推薦者は古城民長にして頻りに議員間を說き廻はり既に八步通りは成功せりと云ふ然れども吾社の探知する處によれば議員中には同氏に嫌厭たるもの少からざるが如くなれば愈々事實に現はる〻時は物議紛出すべし特に民長就任條件中には助役問題は有力なる條件の一に數へられ之を決するには議員七步民長三步の意見に依る筈なれば頗る人選困難なるべしと看取せらる（電通）

●圖書館の設置計畫

京城居留民團にては居留地發展の趨勢に伴ふ設備として各種の計畫を立案しつゝあるが就中其最も急要なるは圖書館なりとし之が設置の爲め四十三年度豫算には必ず計上せしむべしと唱道せる議員少からず而して之に要する財源は普通歲入にては困難に就き此際巨額の團債を募集し他の必要事業をも併せ遂行せば經濟界に於ける不況挽回の一助ともなる可く一方監督官廳にても長期償還の條件にて成立すれば五十萬圓位迄の募債は認可すべしと云ふ

●仁川市場の開設期

仁川の韓人市場設置に關しては屢々報道する處ありしが聞く處に依れば其市日は四、九の兩日に定め其他の設計も略ぼ終れりと雖も位置の撰定に時日を要しつゝあれど之とて近日中何れかに決定すべく開場の日近きにあるべしと

●築港と港灣視察談

來る廿六日午後一時三十分仁川民役所樓上に築港期成會員及び民團、商業會議所兩議員並びに新聞記者を招集して曩に調査の爲め東京橫濱大坂神戶等に出張せし岩崎民長及び靑木商業會議所副會頭の港灣視察談ある筈なり

●山本技師の出發　農商工部農務課長より棉花栽培所長に轉任したる山本小源太氏は二十五日出發赴任の筈なり

●遠藤判事の入京　光州地方裁判所判事遠藤豁氏は廿一日入京浦尾に投宿

●檜崎大每子東上　大阪每日新聞京城特派員檜崎桂園氏は廿二日午前上

慈惠醫院の事業

（奧貫內部技師の談）

淸州慈惠醫院增築に關し敷地撰定其他の要務を帶び此程淸州へ出張し同地觀察道橫手に二千五百坪の地域を買收する事に決し一昨二十日夜歸任したる內部衞生局奧貫技師の談を聞くに慈惠醫院の事業は豫想外の盛況にて淸州の如き每日新患者四十名を數へ施療者總數日々百四五十名に上り大繁忙を極められるが何分病室等狹隘に過ぐる爲め附近の韓人家屋は總て旅店と變じ患者を收容しをる次第にて十數里の地點を遠しとせずはざ〳〵輿、籠若くは擔夫の背等に運ばれて診察を乞ふべく來院する者引きも切らず就中尤も悲慘なりしは年齡十四五歲の韓女には年久しく癩病に罹り居り今は毒血潰爛して見る影もなく慈惠醫院に來り慟哭哀泣して止まず掛員も不憫に感じたれど何分他の患者等は癩病を忌む事非常にて件の癩病娘を見れば一散に遁れ去る有樣なるにぞ懇々掛員より諭すところあり三日隔每に醫藥を給する事とし全癒する迄決して爰を去らずとて遂りに號泣するを宥め兎も角もして一旦は立去らしめたる由猶奧貫技師は明日より全州へ赴き一周間ばかり滯在これ又淸州同樣增築に關する敷地撰定をなす筈

▲治外法權▼

東電の報ずる處に依れば日韓合併問題は貴衆兩院に於て桂首相が與へたる言明後大に開展の機運を促がし雲行き次第に進行して近日其解決を見るべしと、何が何やら具體的要領を得ざれば薩張り解からねども、景氣附けに時々斯樣な說の傳はるのも面白いて▲朴泳孝は馬山に家屋を新築せんと計畫し其日常の生活は頗る贅澤を極め居れりと何等望みなき政爭の渦中に投じて騷ぎ廻はるよりは餘程此方が結構だ彼れも又中々の怜悧者である▲韓國銀行の總會も原案通り可決し市原總裁以下大得意で近々歸京する由▲株主の一人として同總會に列席した峰岸本社長が例の句調にて頗る皮肉質問を發すると、市原氏は其質問を抑止し、韓國の事情に暗き株主連は質問の妨害を試み、中には又贊成說を爲すものもあり中々騷擾を極めたらしい、詳細は知るに由なきも東京新聞の報ずる處に依れば仁川の秋田が同行より八萬圓を借りて居る事は怪しい▲秋田と云へば幾度か破產の域に沈まんとして稍く取止めて居る男だ、而かも市原君は回收の見込確實なりと公言して居る秋田と云ふ男は馬鹿に統監や總裁に信用が厚いから世は樣々と云ふのだ

散髪清人の俠氣(一)

無慘なる少女……無情なる母親……戀しきは昔日の空……

南部水標橋通りの一清人宅に七八才の少女と共に假住なし居る散髪の一清人あり其の一舉一動何となく樣子ありて氣の毒なるより能く〳〵來歷を聞けば在りしあつた故事來歷先づ抑もの始めより筆を起さんに彼の散髪の清人と云ふは元甲玄威と呼ぶ廣東產の男にて十數年前には放蕩に身を持ち崩せし結果遂には雲南地方の馬賊の群に驅を投じて劍戟の間に武勇を顯はし居たりし事さへありしが偶々改心の或る機會に逢着するや茲に心機一變して渡海飄然と我が日本を志して乘出せしは丁度今より十二年前の事神戸に上陸なして後同國人の一商館に買辨として驅を納め一意專心身を粉に碎いて稼ぎし果て貯金を得たるより自ら一居の主となつて內汗は漸次に金と資產家に數へらるゝ位に滿足出來ぬ甲斐は遂に旗の手を大阪堂島の米界に揚げし處運好くも頓々拍子に儲け出せしより盛んに坂神間にて豪遊を試み居たりしが茲に同人が上陸當時より非常なる世話を蒙むりし妻木某と云ふ俠客肌の男あり未だ其の頃は興行にて始終諸國を廻り居たりしが甲が堂島にて大金を摑みし頃は同人も神戸福原遊廓の附近に大貸座敷を開き居たりしより同樓には甲も數年來の恩顧あるとて家人同樣の關係を結び果ては妻木の希望とあつて

辮髮のトンボでそぞろ切り

落して全くの日本人然と成濟ますに至りしかど左れど世は轉變の人の身の上斯くて早くも五年を經過せし其の年の秋前記妻木は落葉と共に白骨の骸となりたるより甲の落膽は一方ならず遺骸の世話迄骨肉もれよばぬ程に盡し見角して其の年も明

くれば三十九年、春何某ぞ妻木の女房なられ綺と云ふが當時四才になるれ雪と呼ぶ可愛ゆき子迄ある身を持て何時しか土地の不頼漢なる花田と云ふ者と

情を通ずる

に至りしかば甲は再々意見を加へしも少しも用ひず却つて

亂態

日に募り往く有樣に遂には甲も持て餘し最早再婚せしむるより外はなしと自分仲介となつて相應なる亭主を周旋せんと

奔走中

恁うしても情夫に未練のあるお綺は到々搭り兼ねし者か

不愍や四才

の娘をば甲に賴むと云ふ一片の手紙を殘して情夫と手を取り

行方不明

となりしより流石の甲も其の無情を憤りて手を盡して搜索したるも皆與れ居所の解らざるより是非なく其の娘を引取つて我が子の如く甲斐〳〵しく養育し居たるこそ殊勝なれ

大鷲を射落す

▽北韓守備隊の獲物

岐阜步兵第六十八聯隊第十中隊は臨時韓國守備步兵第一聯隊に編入され目下韓國慶尙北道榮川に駐屯し居れる臨時韓國守備步兵第一聯隊にては此の程の休暇を利用し中隊長室賀大尉始め中隊將校全部は獵銃を肩に榮川より約一里を距る村落に鴨獵に赴きしに前方より一人の韓人顏色土の如く變じ驅付け大尉等に向つて前方村落に一羽の大鷲來り居る旨を告げしかば一同は好き獲物擊止め與れんとて其の場に驅付けしに鷲は二歲ばかりの韓兒を鷲摑みとなし今にも餌食となさん有樣なるにぞ大尉等は獵銃の狙ひを定めるや鷲は慴みし小兒を放ち裏山の巨樹の梢に飛去りたるが大尉等は逃さじと一齊射擊を爲せしに狙ひ過たず命中し鷲は地上に落下したり件の大鷲は直に中隊本部に搬び來り更に原隊なる岐阜聯隊將校集會所に寄贈し之を剝製として保存し置く筈との通信あり

●若島再勤は噓ちや

▽相撲より役者に成たい

大阪相撲橫綱若島權四郎が來る五月場所より再び土俵の上に現はる可しと傳へられしより好角家は半信半疑に思ひ居る中、或は揣摩臆說を爲すものあり曰く若島の再勤は事實なるも到底以前の如き相撲振は見られざるべく同人が再勤を思ひ立つに至りたるは病氣快癒後不慣れの興業師となりて五萬圓許りの資產を悉く消費し甚しき窮境に陷りしれゝより強ひて再勤を思ひ立ちしものにして當人は勿論大阪相撲協會にても餘り喜ばざるの風ありなどゝ云ひ右につき大坂相撲協會の取締役朝日山は若島再勤は事實に非ずと一笑に附し居りしが記者は頃日神戶小野の千歲座の傍なる其居宅を訪ひ若島に面會して再勤の實否を質したるに同力士は平然として曰く左る事の出來得可き筈なく又斯る風說の如何なる所より出でしかに就ても殆ど推測すること能はず某新聞に揭げられたる寫眞の如きは何時の時代に撮影せしものにや御覽の通り今は坊主頭にて毛頭左る考なし尤も興行は不慣なるも幸に大した損もさず先年千歲座を借りてよりは純然たる興行師となり追つて開通する神戶電鐵に依つて當座も漸次繁昌する見込なれば此機に乘じて何んとかせんと其方にのみ腐心し居れり之には有力なる後援もあれば例へ損を爲したりとて餘り私の腹は痛む譯にもあらず現今の所相撲取になるよりも役者になりたい位なれど此顏にては役者も出來ずと呵々として大笑しながら彼の記事の新聞に出たる以來諸所方々の贔負先より電報や手紙にて問合せがあり一々回答するに閉口し居れりと云々

東西折衷の着附

從來藝妓よりも素人よりも先づ着物の着振りに去る者ありと謳はるゝ新橋大阪家の文光が新案になれる東西折衷振りの仕立と云ふのは此頃花柳界から素人の間にまで流行しかけて大變具合がいゝといふ評判である之に就て文光は語つて曰く「妾は大坂仕込みで東京へ來てからは又東京振りの着附けを熱心に研究した結果一寸思付いたのは東京式と京都式の折衷で着物に無理をかけないで樣子好く着るといふ事です夫は肩のケン先きからツケまでを具合好くつゝめて仕立るので衣桁に掛けた體裁は不合好ですが着こなすと胸のあきから襟の拔き按配まで注文通りに成つき些の狂ひが來ません之が先づ秘訣なんです素人方で京都の人形式は厭だしと云つて齊生流の野暮臭いのは曲がないと思ふ人は此間で後ろ前を二分位つめて仕立れば胸あきや肩の具合が窮屈に優美に見ゑて着こなしも雜作がありません」

三百六十三名の瀕死

▽凶作の爲め路頭に迷ふ

仁川署管內なる島洞面內里島谷、淡方里、谷村、雲乃里、雲谷里、安樂洞、晚宜洞、北若洞地方は一昨年來の凶作の飢饉に瀕し此戶數九十四戶人口三百六十三名は路頭に迷ふか左なくば飢死するの悲境に沈淪し居れば救恤方同面長より仁川府尹に請願し來りたりと云ふが朝鮮流の大製袋には非ざるか

●共狂ひ夫婦評判

▽浮いた戀なら覺めもせう

南大門外は中の新地の邊にて些々やかなる門構への表札の墨黑々と「何田」と記されし一構へあり主は誰かの近所の噂では確か金筋の入つた役人樣には相違なけれど其の奧樣と云ふが何でも只の鼠ではなさ相なとの事なるが此の奧樣な相な處の段でなく以來は釜山遊廓安樂亭とかの女郞上り箸にも棒にもかゝらばてそ海川千年をずんど飛び越へし凄腕の女なるが一と年何田が釜山に滯在中一夜の夢が緣となつて到々立派に泥足を洗つて貰ひ韓妻ではありませんよと念を押し〳〵立戾つたる京城は前記の場所に新世帶始じめのほどこそ擦つた揉んだの口說して互ひに目鼻もなかりしが何日かは覺める浮いた戀とやらで何日しか旦那の何田の方から浮氣を始めつい近くの中之新地へ足を向け始め今日此頃は每夜の如く朝返りなるより嫉妬くも一方ならず泣くやら暴るやらの喧嘩に近所の者の目を見張らせたる事も一再ならざりしが不思議な事には兩三日來其のイチャ騷ぎが見て見ませうでも見られぬ次第の平穩となりしより不思議〳〵と近邊の者が呟くも道理其方が那麼了見ならの捨鉢から北の方も亦出入りの色生白い小間物屋を些と摘んで知らぬ顏今夜も貴下往つて入來つしやいなど大變もない機嫌で旦那どのを押出すと云ふ始末なるが是が又御亭主の耳にでも入らう者なら又一騷動は屹度受合

●寢室は火の海

仁川宮町二丁目居住の掃除受負業熊傳六は一昨夜二階の一室にて枕許に置洋燈を据へ就寢せしに昨午前零時二十分頃如何にしけん洋燈は倒れて一面火の海と化し剩へ邊りの襖に燃へ移りて大事に至らんとする此場の急に眼を覺まし近所の人々の應援を得て消し止むるを得たりと

●外套を拾得す

仁川寺町二丁目本田金次郎と云ふは一昨日午後九時頃宮町一丁目竹園館前にて男外套を拾得其筋に屆出づ

●一山女郎の廢業 仁川一山支店の抱娼妓花川事原林たみ(二九)は一昨日廢業せり

●一昨日の敷島 一昨夜の敷島遊廓登樓客は四十五人にして消費高は百六十五圓なりしと

●歌舞伎座 同座本晚の替り狂言は「七化た新」の通し物にて田宮の島田信次、れ新を堀江勤むる由

●京城座 同座にては今廿三日より新派劇常盤一座乘り込み開演する由なるが初日本晚の藝題は「盲目使者」全十場の通し者なりと

▲平民文庫▼

▲一昨年より昨年にかけて當地各新聞のハガキ便り欄に盛んに材料を供給した例の本町八丁目の下駄屋の娘さんの其の後を耳にしたから紹介する▲此の頭の不景氣に逐々店が張り切れず今では若草町一丁目のトある溫突に一家逼促して御座る▲全体女の美貌は不幸を招く基となるもので此の娘さんも御多分には洩れぬ▲他人の拙者共が見ても左して美人とは見ゑぬが何處か可愛らしく思へる位ゐだから生の親の眼から見れば隨分飛び放れて美しく見ゑるに相違ない▲親が見てさへ左樣だもの御當人には又尊らに美しく思へることも無理はないのである▲美しと見美くしと思ふて居る分には夫れは御手前方の勝手であつて天下は泰平である▲がだ問題は此所に生ずるのである、分外に自分獨で美人と決定するが最後此所に分外の希望を抱く樣になる、樣になつたがドン詰りで美人薄命の嘆を發せしむる素地は作られる▲此の娘さんも自分の顏が自分の眼に自分の顏通り滿足に見へたなら大上の仲頭君を嫌ふて離緣も爲なかつたらうし從つて八丁目の店を閉める迄の運命にも陷らなかつたらう▲況んや今日此の頃の如に暮夜提灯點けた姐さんの跟から人目を憚かる袖屛風、心にもない世辭を云はでも濟んだであらうに▲子を持てる親御達の御參考ともならばとて(風聞子)

▲先日所用があつて北部方面を通行した所が或る支那人の門扉に『財●●連●●銀●●漢、利●●貫●』とあるのが目に着いた支那人は支那人だ嘿さ感心して行くと今度は朝鮮人の門扉に『度●●權●●衞、運●●籌●●策』さあるのが目に着いた、淸韓人個々の國民性は此所に遺憾なく發揮せられて居る(●●通行人)

▲南大門通りに共和組と云ふ車の帳場がある此所に居る五人許りの挽子は皆腕……ぢやない脚達者な勢ひの良いの斗りだが每晚二時三時迄も喧嘩斗りするのは近所迷惑である親方さん叱つて呉れ玉へな(平民生)

▲北米倉町で昨日迄古道具の傍に天婦羅が並で有た店が今夜通て見ると暖簾も出來硝子の內に並べられた天麩羅も支那饂飩洋食其他と揭げられた瓦斯燈と共に見榮がある樣になつた店もラシクすれば天麩羅屋らしい食た天麩羅の味も一層さ(一虎)

▲拜啓御多忙の處甚だ申兼候へ共漢文及び英語を敎しへらる學舍京城に御座無候や又漢文だけにてもよろしく英語ばかりにてもよろしく候間作御敎へ下され度願上候(無學者)

▲龍山本町三丁目に美人の理髮店が出來、押すな〳〵の大繁昌である成程一寸美人である營業服を着けた處の格子なぞ云ふに云はれんよ(彌次黨)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

二月廿三日舊正月十三日八白先勝 巳未執

△一白 新事及變更の事見合すべし旅行轉住相談依賴等見込なし

△二黑 親しき間に疎隔起り他人のために損害を受くるの虞れあり

△三碧 音信異事を報ずるあり爭論遺失防ぐべし

△四綠 陰鬱なる日なり物事不得要領に終らんとす農事殖林には吉

△五黃 平靜の日なり但し業務上に疎漏遺脫を胎す勿れ

△六白 事業始め旅行婚姻等替方針替等妙何概して盛運の日なり

△七赤 依賴懇願にあふて保累を惹起す勿れ其他警美の日とす

△八白 保證世話事を避け盜難無心を防ぐべし

△九紫 有望の日なり業務上につきても快心の事あり旅行及歸省を忌む

●天氣豫報

(自廿二日午後六時 至廿三日午後六時)

西の風晴後曇

廿一日(華氏) 最高溫度 三四、七 最低溫度 一六、二

京城居留民團公文

京城居留民團告示第二號

京城居留民團立高等女學校學則中左記ノ通リ變更ス

明治四十三年二月二十二日

京城居留民團民長 古城管堂

左記

第四條 生徒ノ定員ヲ「二百名トス」ヲ「五百名トス」ニ改ム

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●望上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まず 氏名在社(八)

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり瓦斯電車に近く出入便希望の方は電話七四番

●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならは最佳 氏名在社

●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡したし 氏名在社(九)

廣告

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院隨意
内科 小兒科 眼科
龍山新市街山下町
原醫院

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

入院隨意
内科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

陸軍御用 ……牛乳 ……牧場 電話一〇五六番

京城御成町南大門外一丁目
内科 外科
梅毒麻病專門 戸田病院
●入院隨意
●電話番號九三八番

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
賛化病院
本町四丁目 電話二四番

出張所設置廣告
今般左記の處へ出張所を設置致候間此段廣告仕候也
土木建築請負業 京城南山下町一丁目 須々木本店(龍山電話一〇八番)
諸官衙御用達 京城南大門通り三丁目 須々木出張所(電話四二四番)

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病(生殖器機能障碍の)診療に從事
診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時午前九時迄)
入院隨意
南大門通三丁目
支那領事館前通 京城郵便局後
電話一一七三番
佐藤皮膚病院
院主 佐藤伊藏

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
電話三五四番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集豐富
◎校正嚴密 ◎攜帶便利
●全一册●紙數凡六百頁●菊判半截形●定價金六十錢
右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し斯くては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等發備の完全を期し聊か要願に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御頒酬に應じ可申此段猶々御用仰せ付られ度奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

東京
足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

大 (山形) 萬
特約販賣 自製
味噌 漬物 醬油 卸問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、𠮷精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

神戸資生分院
京城相生町(南門湯横)
京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 廣田耕平
(電話一二九四)

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれは尤も効能あり
貸席
鐵冷温泉
京城本町一丁目郵便局前
電話千四百十一番

蒸氣消毒 牛乳
京城本町三丁目 ……牧場

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類、
卸問屋
京城明治町一丁目四ッ角
唐川商店
電話二六一番

★株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七﨑、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
山陰道 大聖寺、宮山、伏木、新潟 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取 米子、境、松江、八手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、新、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山 尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南、
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、安東縣
清國 晉州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 出張所 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐
京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

日本郵船株式會社電話十番
瀛船出帆廣告
仁川
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 三月十三日後三時出
●大連、太沽牛莊行 高砂丸 三月十九日正午時出
●大連、太沽行 山東丸 三月二日午前六時出
●大連太沽行 酒田丸 三月五日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 三月九日午 時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事